

京都精華大学教育後援会 2021 年度総会議事録

開催日時：2021 年 7 月 3 日（土）11:00-12:15

開催場所：京都精華大学本館 4F 会議室

出席役員：（会長）小村 哲也、（会計）谷岡 暢子、（監事）寺田 勝一、

（以下、学部幹事）柳沢 友美子、坂本 里美、小林 美智子、井上 孝晴、塩路 有紀

大学関係者：（学長・教育後援会顧問）ウスビ・サコ、（副学長）吉岡 恵美子、（副学長）蘆田 裕史、

（教育後援会事務局・経営企画グループ長）舟津潤、（教育後援会事務局・経営企画グループリーダー）矢澤愛

1. 各議案の賛否について

事務局から、各議事についての説明と、事前アンケートによる賛否回答結果の報告があり、全ての議案に対して過半数の賛意を得たことが確認され、可決された。また、各議事の反対票に対する意見はなかったことの報告があった。

アンケート実施時期	2021 年 6 月 10 日～6 月 21 日
アンケート実施方法	オンラインでのアンケート入力方式
アンケート対象者（発送）数	2,995
アンケート回答数	210
うち有効回答数（重複回答除く）	208（回答率 6.9%）

各議案項目	賛成	反対
2021 年度教育後援会について		
(1)教育後援会の諸活動	207	1
(2)教育後援会会則・弔慰取扱細則	207	1
(3)役員について	207	1
2020 年度事業報告および決算		
(1)2020 年度事業報告	207	1
(2)2020 年度決算	207	1
(3)2020 年度寄付事業実績報告	207	1
2021 年度事業計画および予算		
(1)2021 年度事業計画	207	1
(2)2021 年度予算（案）	207	1
(3)2021 年度寄付事業（案）	207	1

2021 年度事業計画および予算 (2)2021 年度予算（案）について、事前アンケートで補助スタッフ人件費について説明が求められたことから、2021 年度より海外留学生保護者も会費徴収対象になり、多言語化対応、海外発送等の業務が増えたことにより、スタッフの増員が必要になったとの説明があった。

## 2. 大学・教育後援会への各種意見について

事務局から、アンケート結果のうち、大学・教育後援会への各種意見についての詳細の共有があり、各意見について下記のとおり回答された。

保護者に成績通知書を郵送で送ってほしいとの意見に対し、留学生が増えている中、全保護者に成績通知書を郵送することが困難であること、ポータルサイトで場所や時間を問わず成績がデジタルで閲覧できることにより利便性を高めているため、今後も郵送の予定はないとの説明があった。

対面授業のより一層の推進をはかってほしいとの意見に対し、サコ学長から、昨年10月より対面授業を増やしていること、現段階で88パーセント対面授業を実施できていることの説明があった。また、オンライン授業の良さも活かしながら、これからの授業を構築すると共に、感染対策をしながら安全に対面授業ができるよう、学内整備を整えていくことの説明があった。

オンライン授業に対応しきれない学生への対応について、サコ学長から、昨年度より学生の通信環境の充実に努めていること、学生にPC端末の無償貸し出しを行っていること、学生に必要な材料や本を送付していることの説明があった。これからも教員自身が、学生が教育に遅れないよう努めていくとの発言があった。

地方在住の保護者が大学とどう関わっていけるのかとの意見に対し、事務局から、教育懇談会や懇親事業を開催していること、本学に来ることが難しい場合はオンラインのイベントにもご参加いただけること、毎年役員募集を行っていることの説明があった。

精華ガイドブックの全保護者への紙配付はもったいないのではないかと意見に対し、事務局から、精華ガイドブックは1年生保護者のみに配付していること、今後、デジタル化を進め、WEB上で確認できるようにすることの説明があった。

大学生活において、交友関係やサークル活動ができないとの意見に対し、蘆田副学長から、サークル活動は禁止していないこと、緊急事態宣言下では課外活動は全面禁止としているが、感染対策を万全にすることや、学生グループに報告をすることを条件に公認団体の活動を認めていることの説明があった。授業・課外活動において、学生ができるだけ交流の機会を持てるよう、これからも取り組んでいくことの発言があった。また、学生同士のピアサポート（学生同士の相互支援）の仕組みを来年度にむけて進めているとの報告があった。

授業で着替えるための更衣室がないとの意見について、蘆田副学長から、現状空き教室が十分でない状況下にあること、学生の意見を含めて施設チームと検討していくことの回答があった。

## 3. その他

サコ学長から、第12回アジア研究国際大会（ICAS12）へのオンライン参加の呼びかけがあった。

以上